

### ■米国：2050年までに再エネとガスの比率が拡大と予想

2016年11月21日付の報道によると、米国エネルギー省国立再生可能エネルギー研究所（NREL）が2050年における米国のエネルギー需給を予測した最新のレポートを公表した。本レポートによると、再エネの発電コストは継続的に減少し、天然ガス価格は中期的に低コストを維持することから、両電源の大幅な増大が見込まれる。再エネの増加ペースを高めに想定したシナリオでは、2050年までに再エネの総発電量に占める割合は33%に達するとされており、水力発電を含む再エネ電源の割合は59%にまで達するとされている。なお、中立的なシナリオでは水力発電を含む再エネ電源の割合は44%と予測されている。